

2012年度 学校評価報告書 (大阪聖母学院小学校)

学校目標	カトリックの価値観を基盤として 『人を愛し、自らを高める強い意志と豊かな心をもつ子どもを育成する』
------	--

校長名	藤原 順子
-----	-------

重点目標	1. 建学の精神の徹底と教育力の向上 2. 入学者の安定的確保 3. 一体感の醸成
------	---

学 校 自 己 評 価				
2012年度目標			2012年度評価 (2013年3月25日現在)	
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果	次年度への課題と改善
1	1. 教育活動4本柱の連携による教育活動の実施 2. 教員の指導力と品位の向上 3. 保護者との信頼感の構築	<ul style="list-style-type: none"> 宗教教育部・人権教育部・研究部・生徒指導部の連携の下、「心の育成」「知の育成(高い学力保障)」を目指す。 各部の活動を基盤に人を思いやる心を育成することに全力で努める。 宗教研修、授業研究、人権研修、生徒指導研修、マナー研修の充実。 児童が、先生が好き、友達が好き、学校が好きとあって登校できる学校作りを実現することで保護者の信頼を得、子どもの成長を保護者とともに喜べる信頼関係作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 宗教の授業をより実りあるものにするため、宗教部中心に題材を提供し、宗教教育に活かしている。 『奉仕祭』を中心に、祈りの集い・ロザリオの祈りなどの宗教行事を計画・推進。 休み時間には、教員が子どもとともに遊び、子どもたちの仲間作りや譲り合いの心を育成できるようにした。また、いじめ防止につながる友だち関係を把握することができた。 お米一握り運動や福祉体験学習などを通して『人を大切に作る心』の育成に努めている。 子どもたちの様子を相互に共有し、トラブルは早期に解決するようにした。 『今日の取り組み』として朝、お祈りの後に『フラッシュカード』で漢字読み先習を全学級実施することが習慣となった。 スマートボードを活用する授業の研修を8月に実施し、有効的に活用するよう努めた。 総合的な学習として『和装礼法』を実施。 保護者からの要望に対する的確で迅速な対応をするために報告・連絡・相談の徹底を全教員が心がけた。 研究教科(算数)を、全学年において年間1回の研究授業を実施し、外部講師にその助言を仰ぎ研究会が実りあるものになった。 全教員が年間1回以上の公開授業を実施した。(新任は3回以上) 講師を招き、宗教および人権に関する校内研修を実施した。 カウンセラーに依頼して発達障害の研修をした。 全児童対象年2回、保護者対象年1回のアンケートの実施。 学校関係者評価会議を持ち、その結果報告を保護者に配付した。(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の取組を継続していく。 英語の試験についてはJETを導入し、来年度は3年生以上で実施。関心意欲を高める。 神父様の異動により新しく来られた香里教会主任神父様に指導を仰ぐ。
2	出願者の確保と辞退者減少のための工夫を実施	<ol style="list-style-type: none"> 広報の工夫 <ul style="list-style-type: none"> 児童、教員の資質向上 イベントやアイデアの実現 HP トビックスや校長ブログの活性化 積極的な募集活動の取り組み <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園の訪問強化 塾の範囲の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の資質こそが真の広報であることから、マナーを身につけた行動ができるよう指導に努めた。 HPの「ニューストビックス」や「入試情報」をできるだけ頻りに更新するよう努めた。 次年度に向けての説明会等を実施。・個別学校見学案内の実施。 年中児対象プレテストを実施。 入試広報の総括として、教員一人ひとりが新たなアイデアを出せるよう努力した。 幼小連携委員会を開催し、内部幼稚園からの特別推薦制度を確立。 入学予定者対象の『体験入学』は1月に実施し、1年・6年との交流をした。 メーリングによるメール配信やHPを利用して学校の様子を知らせ、行事への案内も頻りに行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、塾訪問を早めに進めていく。 ブログの更新およびトビックスの更新を毎日進めていく。 プレテストの申し込み等、HPからできるようにする。 新しく高槻、茨木方面の児童を確保するためバス広告を打つ。
3	1. 児童・保護者との関係作り 2. 教員間の意志疎通をはかる。 3. 他の所属との連携促進 4. 同窓会との連携 5. 教会・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の要望への迅速かつ的確な対応 報告・連絡・相談を怠らないよう努める 教員同士・子ども同士の交流 行事の計画と実施の協力 	<ul style="list-style-type: none"> いじめが発生しないよう、体制作り等を構築するよう努めた。 学級委員ならびに「広報部」「文化教養部」「ボランティア部」と連携し、よりよい教育活動が展開できるようにした。 教員同士の意思疎通をはかり一体感を高めるよう努力した。 報告、連絡、相談の徹底を図った。 中高と毎月1回管理職ミーティングを実施。 中高とのクラブ交流を実施。 スクールカウンセラーの配置。各クラス巡回と教員の相談実施。 桜樹会と連携をとり、児童への教育的支援を依頼した。 かおり会・さくら会とも連携をとりながら行事などの計画を推進し、12月には被災地復興支援の集いを実施。 かおり会主催で第2回成人式などの計画・実施。 地域との連携を図ることができるような取組を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の取組を継続していく。 教育支援センターとの連携を図り、相談ができる時間設定をしていく。 これまで同様、学校評価アンケートをとおして子どもの実態、保護者の思いを吸い上げ教育活動へ生かしていく。また、休み時間には教員と子どもがいっしょに遊びを楽しむ、子どもの人間関係についても注意を払っていく。 学校評価の評価項目を検討する。

学校関係者評価
実施日 2013年3月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>次の三つの観点から評価を行っていただきました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度の学校評価のあり方は適切であったか。(質問項目について次年度は検討) 今年度の学級・学年・学校の取り組みは、お子様や保護者の願いにそったものであったか。 学級委員活動の活性化のために改善すべき点は何か。 <p>①今年度の学校評価のあり方は適切であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問の項目は概ね適切だったが、項目の精選を図ってほしい。 <p>②今年度の学級・学年・学校の取り組みは、お子様や保護者の願いにそったものであったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語科の体制が変わったが、今後もしっかりとした年間計画のもと、子どもたちが達成感を感じる内容を取り入れてほしい。 英語授業の改善が見られ良かったが、英検受検の導入も検討してほしい。 給食のあり方について再度考えてほしい。 音楽発表会の内容はよいが、場所と時程について検討してほしい。 避難訓練の回数を増やしてほしい。 アフタースクールをさらに充実させてほしい。 <p>③学級委員活動の活性化のために改善すべき点は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高と連携したイベントの計画を積極的に取り入れてほしい。